

# 第7節 図画工作

## 第1 指導計画の作成

### 1 指導計画作成の基本的な考え方

#### (1) 図画工作科の目標を押さえる (解 P 9～16)

目標の実現に当たっては、(1)知識及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等を相互に関連させながら資質・能力の育成を図る。(1)、(2)、(3)は、別々に分けて育成したり、順序性をもって育成したりするものではない。

#### (2) 内容の構成を把握し、育成すべき資質・能力を押さえる (解 P20～25)

図画工作科の内容は、「A表現」、「B鑑賞」及び〔共通事項〕で、次のように構成されている。

#### 内容の構成と三つの柱の関係

##### 〔A表現〕(1)【発想や構想に関する項目】

→ ア 造形遊び、イ 絵や立体、工作 を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」

##### 〔A表現〕(2)【技能に関する項目】

→ ア 造形遊び、イ 絵や立体、工作 を通して育成する「技能」

##### 〔B鑑賞〕(1)【鑑賞に関する項目】

→ ア 鑑賞 を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」

##### 〔共通事項〕(1)

→ ア 「A表現」「B鑑賞」 を通して育成する「知識」

→ イ 「A表現」「B鑑賞」 を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」

### 2 指導計画作成の一般的な手順

#### (1) 図画工作科の指導の目標を設定する

学習指導要領及び本編成要領を踏まえ、各学校の教育目標や重点、施設設備や行事、児童の興味や関心、技能などの実態、地域の特色などを考慮して、具体的に設定する。

#### (2) 各学年の指導の目標を設定する

各学校が設定する各学年の指導の目標は、学習指導要領の教科並びに各学年の目標を受け当該年度の児童の実態を考慮して具体的に設定する。

#### (3) 各学年の指導内容を検討する

学習指導要領に示す内容構成に照らし、設定した各学年の目標に応じた指導内容を検討する。また、〔共通事項〕のAの指導(解 P114～116)、材料や用具について(解 P117～120)検討する。

・〔共通事項〕のAの指導の配慮事項(知識として捉える内容)	
低学年	いろいろな形や色、触った感じなど
中学年	形・色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなど
高学年	動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなど
・材料や用具の取扱い(該当学年で扱う内容に従前と変更なし)	
低学年	土、粘土、木、紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀類など身近で扱いやすいもの
中学年	木切れ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、使いやすいのこぎり、金づちなど
高学年	針金、糸のこぎりなど

#### (4) 題材を検討する

採択された教科書の題材を研究し、各学年の指導内容にふさわしい題材を検討する。

#### (5) 題材ごとの時間数を想定して、年間指導計画を作成する (解 P106～108)

題材の配列を基に年間の指導計画を作成する。計画の作成に当たっては、『独立した「鑑賞」「工作」と「絵や立体」に相当する時数をおよそ等しくすること』について考慮する。

#### (6) 題材ごとの指導計画を作成する

年間指導計画を基に、児童の実態を踏まえ、造形的なよさや美しさ、特性をつかみ、指導の内容や評価の観点を整理し焦点化して、題材ごとの指導計画を作成する。

※ 〔共通事項〕は、それだけを題材にしたり、どの時間でも〔共通事項〕を教えるから授業を始めたりするなどの硬直的な指導にならないよう配慮して指導計画に位置付ける。(解 P33・34)

#### (7) 指導計画を評価し、改善する

年間指導計画は実践を基に検討し、問題点を明らかにして改善していく。

### 3 指導計画作成に当たっての留意すべき事項

#### (1) 「特別な配慮を必要とするなどの課題を抱えた児童への指導」の視点 (解 P110・111)

変化を見分けたり、微妙な違いを感じ取ったりすることが難しい場合は、造形的な特徴を理解し、技能を習得するように、児童の経験や実態を考慮して、特徴が分かりやすいものを例示したり、多様な材料や用具を用意したり、種類や数を絞ったりするなどの配慮をする。形や色などの特徴を捉えることや、自分のイメージをもつことが難しい場合は、形や色などに気付くことや自分のイメージをもつことのきっかけを得られるように、自分や友人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定するなどの配慮をする。

#### (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点 (解 P104~106)

児童一人一人が「造形的な見方・考え方」を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習が充実するようにすることが大切である。「造形的な見方・考え方」とは、感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすことである。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けては、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を相互に関連させながら資質・能力の育成を図る必要がある。その上で、自分の成長やよさ、可能性などに気付き、次の学習につなげられるようにすること、「この形や色でいいか」、「自分の表したいことは表せているか」などの自分との対話を大切にしつつ、互いの活動や作品を見合いながら考えたことを伝え合ったり感じたことや思ったことを話したりするなどの言語活動を一層充実すること、育成を目指す資質・能力を明確にし、つくり、つくりかえ、つくるという学習過程を重視することなどが大切である。

#### (3) 「教科等横断的」な視点 (解 P4・121・122)

他の教科等との関連を図るなどして、学習の基盤となる資質・能力(言語能力など)や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントに努める。図画工作科においては、特に〔共通事項〕を視점에、感じたことや思ったこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなどの言語活動の充実を図る。

#### (4) 「社会に開かれた教育課程」の視点 (解 P121)

児童の鑑賞の充実の観点から、児童や学校の実態に応じて、地域の美術館や博物館など親しみのある美術作品や生活の中の造形などを展示している地域や場所を利用したり、連携を図ったりする。利用においては、鑑賞を通して「思考力、判断力、表現力等」を育成する目的で行うようにするとともに、児童一人一人が能動的な鑑賞ができるように配慮する。また、施設が提供する教材や教育プログラムを活用する、学芸員などの専門的な経験や知識を生かして授業をするなど、多様な取組を考える。

#### (5) 「道徳教育の充実」の視点 (解 P111・112)

教師の態度や行動による感化とともに、図画工作科と道徳教育との関連を明確に意識しながら、適切な指導を行う必要がある。図画工作科の年間指導計画の作成などに際しては、道徳教育の全体計画との関連、指導の内容及び時期等に配慮し、両者が相互に効果を高め合うようにすることが大切である。

#### (6) 「共同してつくりだす活動」の視点 (解 P108)

「A表現」の指導において、児童が友人と共に活動することを楽しむ傾向を生かし、適宜共同して製作する内容を取り入れる。共同して活動することは、様々な発想や構想、アイデア、表し方などがあることに互いに気付き、表現や鑑賞を高め合うことにつながる。活動を設定する場合には、児童の実態を考慮するとともに、児童一人一人の発想や構想や技能などが友人との交流によって一層働くようにすることが大切である。

#### (7) 「低学年における他教科等や幼児教育との関連」の視点 (解 P109・110)

育成を目指す資質・能力を明らかにした上で、例えば、題材を選択する時期と他教科等の関連的な単元等の時期を合わせる、図画工作科の時間につくったものを他教科等の時間に活用する、他教科等における自然や社会などの経験を造形的な発想に生かすことなどが考えられる。

#### (8) 「事故防止と学習環境の整備を図る」視点 (解 P124・125)

基本的な材料や用具は繰り返して体験できるように工夫し、その扱い方が確実に身に付くようにするとともに、鋭い刃物や電動式の用具などの管理に十分注意をはらうことが大切である。また、学校は児童の楽しいアイデアや工夫が見られる造形的な空間であることが望ましい。そこで、校内の適切な場所に作品を展示するなどして、それらを鑑賞できるように配慮することも大切である。

## 第2 指導計画作成のための資料

### 1 指導内容の系統表

#### 〔幼稚園教育要領（表現）〕

感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

1ねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
2内容	(1) 生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。 (2) 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。 (3) 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。 (4) 感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする。 (5) いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。 (6) 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう (7) かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。 (8) 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。

#### 〔第1学年及び第2学年〕 ※目標（解 P35） ※思、判、表等…思考力、判断力、表現力等の略

領域等	項目	事項	指導計画作成に当たって
A 表現	(1) 発想や構想	「ア 造形遊び 「思、判、表等」	○身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くこと ・材料と十分に関わることができるよう、広くて安全な場所を活動場所にしたり、一人一人の児童が発想を広げたりすることのできる時間を確保する。(解 P40) 【3(2)(8)】 ○感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えること ・児童の活動は多様であることを踏まえ、一人一人の発想や構想を可能な限り受け止める。また、児童の「感覚や気持ち」と「活動すること」を切り離さないように配慮する。(解 P40) 【3(6)】
		「イ 絵や立体、 「思、判、表等」 工作	○感じたこと、想像したことから、表したいことを見付けること ・児童の興味や関心を題材や指導に生かすことが必要であり、日頃から把握しておく。また、表したいことの変化などに柔軟に対応することや、表したいことを見付けることは児童自身が行うことだということを踏まえ、計画する。(解 P42) 【3(2)】 ○好きな形や色を選んだり、考えたりしながら、どのように表すかについて考えること ・好きな色を選んだり、納得するまで作り直したり、行きつ戻りつしながら表したり思い付いたりすることができる過程を重視する。(解 P42) 【3(2)】
	(2) 技能	「ア 造形遊び 「技能」	○身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れること ・手や体全体の感覚などを働かせて、いろいろな材料に触れ、材料を扱う楽しさや面白さを味わい、関心や意欲をもつように計画する。安全面に配慮し、危険が伴うものは、必ず教師が使い方を教えるようにする。また、用具の置き場所や活動場所などに配慮する。(解 P45) 【3(8)】 ○並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること ・材料だけでなく、活動場所について考慮する。また、児童が自ら工夫してつくるように配慮する。(解 P45) 【3(2)】
		「イ 絵や立体、 「技能」 工作	○身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れること ・材料や用具を楽しく使えるような題材を設定する。表し方を工夫して創造的に表す過程で使い方について関心を持ち、慣れるように計画する。危険が伴う用具は、必ず教師が使い方を見せるようにする。(解 P47) 【3(8)】 ○手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表すこと ・感じたことを生かしながら表すことや、用具を使うことから表現が広がったりするように計画する。また、児童が主体的に表し方を工夫することができる設定をする。(解 P47) 【3(2)】
B 鑑賞	(1) 鑑賞	「ア 鑑賞 「思、判、表等」	・自分と対象とを一体的に捉えている低学年らしさを指導に生かす。児童の意欲や関心を重視し、身の回りの作品や材料などを見たり触ったりしたときの素直な驚きや喜びを大切に、それを広げたり確かめたりできるように計画する。(解 P51) 【3(7)】 ・表現と鑑賞が分けにくいこの時期の特性を考慮し、相互の関連を図るようにする。(解 P52) ・感じたことや思ったこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなどの言語活動を充実する。(解 P51) 【3(3)】
〔共通事項〕	(1)	「ア 「知識」	○自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付くこと ・児童が体験的に対象の形や色などに気付くことができるようにする。比べて選ぶ、様々な材料に触れるなど多様な学習活動を設定し、興味や関心をもてるように計画する。(解 P56) 【3(7)】
		「イ 「思、判、表等」	○形や色などを基に、自分のイメージをもつこと ・児童がもっているイメージを捉え、具体的に把握し指導に生かすように計画する。また、豊かなイメージにつながるような体験を設定する。(解 P56) ・児童のもつイメージは、活動しながら更新されていくことに配慮して活動の過程に着目する。
【使用する材料や用具】土、粘土、木、紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀類など身近で扱いやすいもの			

領域等	項目	事項	指導計画作成に当たって
A 表現	(1) 発想や構想	ア「造形遊び」「思、判、表等」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くこと</li> <li>・材料や場所と十分関わりながら造形的な活動を思い付くように、材料から場所を考えたり、活動する場所にある材料を活用したりするなど、児童がいろいろ試みる中で、発想が広がるように計画する。(解 P63) 【3(8)】</li> <li>・児童が材料の質や量と場所とを考え合わせながら活動できるように計画する。(解 P63)</li> <li>○新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること</li> <li>・あらかじめグループでつくるものを決めて分担するのではなく、材料と関わる中で児童が自然に発想や構想が展開できるように計画する。(解 P63) 【3(6)】</li> </ul>
		イ「絵や立体、工作」「思、判、表等」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けること</li> <li>・表現する喜びを味わい、造形的な創造活動を楽しもうとする意欲がわくような題材名を設定する。</li> <li>・題材は、表したいことのイメージが先に明確にあり、それを表現していく傾向が強いものや、表しながら表したいことを次々と思いつかべ、表現の思いが膨らんでいく傾向が強いものなどがあり、様々な学習過程を経験するよう設定する。(解 P65)</li> <li>○表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること</li> <li>・明確な手順どおりに表すというよりも、試しながら表したり、次第に表したいことや用途などが明確になったりするように配慮する。(解 P65) 【3(2)】</li> <li>・自分の思いに合う材料を児童自身が集めたり、材料や用具を置く場所を設けて、材料を比べながら選んだりするようにする。(解 P65) 【3(2)】</li> </ul>
	(2) 技能	ア「造形遊び」「技能」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料や用具を適切に扱うこと</li> <li>・児童が、材料や用具を十分に経験することを通して楽しみながら適切に扱うように計画する。</li> <li>・用具の安全な使い方を指導するとともに、活動を通して扱いが分かっていくようにする。(解 P68)</li> <li>○前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくること</li> <li>・手や体全体を十分に働かせながら用具を使ったり、表し方を工夫したりする中で技能が育成されるよう、多様な材料や用具を用意したり、材料や用具の種類や数を絞ったりする。(解 P68) 【3(1)】</li> <li>・低学年で扱った材料や用具を工夫して扱うなどの発展的な指導を行うように計画する。(解 P68)</li> </ul>
		イ「絵や立体、工作」「技能」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料や用具を適切に扱うこと</li> <li>・児童の実態に配慮しながら、材料や用具が安全に使えるよう計画する。(解 P70) 【3(8)】</li> <li>○前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと</li> <li>・児童が積極的に材料や用具、表し方などを試すことができるように計画する。(解 P70)</li> <li>・児童が造形遊びをする活動で得た材料などの経験を生かすことのできるような設定をする。</li> <li>・自然に活動を交流できる場を設定する。(解 P70)</li> </ul>
B 鑑賞	(1) 鑑賞	ア「鑑賞」「思、判、表等」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら働きかけながら見つけたよさや面白さを、児童自身が気付くようにする。表したこと、自ら作りだした形や色などとの関連に気付くような活動を設定する。(解 P74)</li> <li>・美術作品を取り上げる場合は、児童一人一人が自分なりのよさや面白さを見付けるように配慮する。(解 P74)</li> <li>・自分の作品や美術作品などについて、どのように感じたのか、思ったのかの根拠や理由を形や色などを基に話したり、適切な人数で話し合ったり、気持ちを振り返って書いたりするなど、学習形態を工夫する。(解 P74) 【3(1)(2)(3)】</li> <li>・作品や事柄に対して意見を述べ合う中で、共通点だけでなく異なった捉え方や感じ方を大切にし、互いのよさや個性などを認め合うように活動を設定する。(解 P74)</li> </ul>
〔共通事項〕	(1)	ア「知識」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること</li> <li>・教師から一方的に教えるのではなく、形や色などの感じが生まれるような水彩絵の具などの材料や用具を使ったり、様々な触り心地の材料を用意したりするなど、多様な学習活動を設定し、児童が形や色などの感じに興味や関心をもつように計画する。(解 P79)</li> </ul>
		イ「思、判、表等」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと</li> <li>・材料にたっぷり触れ合ったり、行為や活動を繰り返したり、表したいことをじっくり考えたりすることができるように、材料などの量や活動などの時間を十分に確保した計画を立てる。(解 P79)</li> <li>・特定の図像や情報を与えて、それに児童を沿わせるように指導するのではなく、自分の思ったことを簡単な絵や図にかきとめたり友人と語り合ったりするなど、児童が活動する中で自分のイメージに気付いて、活動の展開を図ることができるようにする。(解 P79) 【3(2)】</li> </ul>

【使用する材料や用具】 木切れ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、使いやすのこぎり、金づちなど

領域等	項目	事項	指導計画作成に当たって
A 表現	(1) 発想や構想	ア「造形遊び」「思考、判断、表等」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付くこと</li> <li>・児童が材料や場所、空間などの特徴を十分に関連させながら、造形的な活動を思い付くよう計画する。(解 P86)</li> <li>○構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること</li> <li>・材料や場所に関わる活動の中から気付き、その実感を基に活動を更に展開したり、これまでの材料経験を生かし、活動を思い描いたりすることができるよう設定する。(解 P86) 【3(2)】</li> <li>・一人一人がつくり、つくりかえ、つくることのできるようにする。(解 P86)</li> </ul>
		イ「絵や立体、表、工作」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けること</li> <li>・主題の発想については児童自身が行うように計画する。(解 P88)</li> <li>・材料に触れる、友人と交流する、言葉で考えを整理する、用具を使ってみるなどして、児童が表したいことを見付けることに自信をもつような方法やきっかけを考え設定する。(解 P88) 【3(5)】</li> <li>○形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること</li> <li>・児童一人一人がこれまでの経験を十分に生かすことのできるようになるため、思い付いたことを進んで取り入れられるよう配慮する。(解 P88) 【3(1)】</li> <li>・材料や用具を使いながら表したいことが変わっていくこともあることを踏まえ、計画する。(解 P88)</li> </ul>
	(2) 技能	ア「造形遊び」「技能」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動に応じて材料や用具を活用すること</li> <li>・材料の特徴を十分に感じ取ることができるよう計画する。(解 P91)</li> <li>・材料や用具が、どのように学習に用いられるに至ったのかを児童自身も理解し、愛着をもって扱うことのできるようにする。(解 P91)</li> <li>○前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくること</li> <li>・児童のつくりたいという主体的な気持ちを大切に、自分らしい方法を身に付けることのできるよう計画する。また、手応えや新鮮な喜びを感じられるような材料や場所との出会いを設定し、前学年までの材料や用具についての経験や技能を生かせるように配慮する。(解 P91)</li> </ul>
		イ「絵や立体、工作」「技能」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現方法に応じて材料や用具を活用すること</li> <li>・表現方法と材料や用具の特徴を児童自身が照らし合わせて用いるようにする。その際、扱っている材料や用具自体のよさについて理解し、活用していくようにする。(解 P93)</li> <li>○前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと</li> <li>・児童自身が材料や用具を活用しながらその効果や可能性に気付くように計画する。(解 P93)</li> <li>・これまで経験した材料や用具をすぐに手に取れるような環境を整えたり、試しながら新しい方法を見付けられたりできるように配慮する。(解 P93) 【3(8)】</li> <li>・友人の表現方法や材料の使い方が自然に取り入れられるような学習環境を設定する。(解 P93)</li> </ul>
B 鑑賞	(1) 鑑賞	ア「鑑賞」「思考、判断、表等」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞する対象や鑑賞の方法を幅広く捉え、この時期の児童が、興味や関心の対象を広げる中で自分らしい見方や感じ方ができるようにする。(解 P97)</li> <li>・対象と一体となって鑑賞する姿勢が大切であり、これを生かしながら、高学年らしい具体的な気付きを明確にし、その上で、「表現」との関連を図るようにする。(解 P98)</li> <li>・美術館を利用したり連携を図ったりする際は、鑑賞を通して児童の見方や感じ方、考え方などが深まるように配慮する。(解 P98) 【3(4)】</li> <li>・我が国の伝統や文化について取り扱う場合は、芸術や自然の美しさを味わっていかうとする態度の素地となるようにする。(解 P98) 【3(4)(5)】</li> <li>・言語活動を目的とした特定の型や方法に固執せず、児童の資質・能力の育成を重視できるよう指導計画を工夫する。教師が一方的に情報を与えることがないよう配慮する。(解 P97)</li> <li>・友人の感じ方に共感するだけでなく、それを基に自分の考え方を確かにできるよう配慮する。児童自身が決めたテーマで鑑賞の作品を集めたり、それを基に適切な人数で話し合ったりするなど、他者との交流を重視した活動を設定する。(解 P97) 【3(3)】</li> </ul>
〔共通事項〕	(1)	ア「知識」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること</li> <li>・児童が体験的に理解することができるよう、造形的な特徴を捉えやすいような場所で活動する、材料を比べられるようにするなど多様な学習活動を設定する。(解 P102)</li> </ul>
		イ「思考、判断、表等」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと</li> <li>・児童自身が自分の心に浮かんだイメージを具体化するような手立てを設定する。(解 P102)</li> <li>・形や色などを活用してコミュニケーションを図れるよう計画する。(解 P102)</li> </ul>
【使用する材料や用具】			針金、糸のこぎりなど

〔中学校第1学年〕 ※中解美…中学校学習指導要領解説美術編の略

目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 (中解美 P52)			
領域等	項目	事項		内容
A 表現	(1) 発想や構想に関する資質・能力 「思考力、判断力、表現力等」	ア感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想	(ア) 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想	○対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること(中解美 P57)
イ目的や機能などを考えた発想や構想		(ア) 構成や装飾を考えた発想や構想	○構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること(中解美 P61)	
(イ) 伝達を考えた発想や構想		(イ) 伝達を考えた発想や構想	○伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること(中解美 P63)	
(ウ) 用途や機能などを考えた発想や構想		(ウ) 用途や機能などを考えた発想や構想	○使う目的や条件などを基に、使用する者の気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること(中解美 P64)	
(2) 技能に関する資質・能力 「技能」	ア発想や構想をしたことを基に表す技能	(ア) 創意工夫して表す技能	○材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと(中解美 P67)	
	(イ) 見通しをもって表す技能	(イ) 見通しをもって表す技能	○材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと(中解美 P69)	
B 鑑賞	(1) 鑑賞に関する資質・能力 「思考力、判断力、表現力等」	ア美術作品などに関する鑑賞	(ア) 感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現に関する鑑賞	○造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること(中解美 P72)
(イ) 目的や機能などを考えた表現に関する鑑賞		(イ) 目的や機能などを考えた表現に関する鑑賞	○目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること(中解美 P73)	
イ美術の働きや美術文化に関する鑑賞		(ア) 生活や社会を美しく豊かにする美術の働きに関する鑑賞	○身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること(中解美 P74)	
(イ) 美術文化に関する鑑賞		(イ) 美術文化に関する鑑賞	○身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること(中解美 P75)	
(共通事)	(1) 「知識」	ア形や色彩などの性質や感情にもたらす効果の理解	○形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること(中解美 P78)	
イ全体のイメージや作風などで捉えること		○造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること(中解美 P78)		

## 2 内容別題材配当表例

※このページ以降の(絵)(立)(工)という表記は、その題材の主たる活動を示す。  
 ※◎印は、適宜共同してつくりだす活動を取り上げるようにした題材を示す。  
 ※時間の「2～4」という表記は、児童や学級の実態に応じてその時間の範囲を弾力的に扱うことを表す。  
 ※主な材料・用具覧の下線は、当該学年(低・中・高学年の2学年間)で扱うべき材料または用具を示す。  
 ※〔共通事項〕は題材ごとにア、イを指導するが、本誌では主たる例としていずれか一方を示す。

### 【第1学年】

(総授業数 68時間)

種	題材名	時間	学習活動	〔共通事項〕例	主な材料・用具
造形遊びをする活動(14時間)	◎しぜんともだち 【3(6)(7)】	4	自然の材料を基にして、並べたり、つないだり積んだりする。	イ自然の材料の形や色などを基に、イメージをもつ	自然の材料(葉、枝、草、石、土、砂)
	◎ふわふわ ポンポン 【3(6)】	2	傘袋などをふくらませ、触った感じや動きなどを試し、形や色を楽しむ。	ア感覚や活動を通して、形や色などに気付く。	傘袋、カラーポリ袋、セロハンテープ
	◎はこをならべて 【3(6)】	4	箱を基にして、並べたり、つないだり積んだりする。	ア箱を並べる活動を通して、形や色などに気付く。	紙箱やカップなどの身近な材料
	◎ころころ ペったん 【3(6)】	2	身近な材料を写して、面白い形を見付けたり、写し方を試したりする。	ア材料を写す活動を通して形や色などに気付く。	共用絵の具、スタンプ台、版画用紙、身近な材料
	◎おおきな かみで 【3(6)】	2	大きな紙をやぶいたり、さいたり、丸めたりし、形や色を変化させながら楽しく活動する。	ア紙をやぶいたり、丸めたりする活動を通して、形や色などに気付く。	大きな紙
絵や立体、工作に表す活動(53時間)	すきなものなあに? (絵)【3(7)】	2	表したいことを見付けて、いろいろな形をかいたり、好きな色を選んだりしながら表す。	イかいた線の形や色などを基に、自分のイメージをもつ。	画用紙、クレヨン、パス、カラーペン
	あつ みいつけた (絵)	2 4	切り取った紙の形や色などから表したいことを見付けて表す。	ア紙を切り取る活動を通して、形や色などに気付く。	画用紙、クレヨン、パス、カラーペン、のり
	えのぐが スイスイ (絵)	4	色を選び、絵の具で自由な線をかき、心地よさを楽しみながら表したいことを表す。	イ絵の具でかいた形や色を基に、自分のイメージをもつ。	共用絵の具、画用紙、皿、筆
	すきなかんじに はりたいな (絵)	4	花紙の触った感じや形、色を楽しみながら、貼り付けて表す。	イ紙の触った感じや貼り付けた紙の形や色を基に自分のイメージをもつ。	花紙、水のり、画用紙
	ウキウキ ドキドキ (絵)	2	生活の中で楽しかったことやおどろいたことを基に表したいことを見付け、形や色を考えながら表す。	ア遊んだことなど基に絵に表す活動を通して、形や色などに気付く。	画用紙、クレヨン、パス、カラーペン
	てで かいたら たのしいことが (絵)【3(7)】	2	液体粘土と絵の具を使って、手で感触を楽しみながら表したいことを表す。	イ手でかいた形や色を基に、自分のイメージをもつ。	画用紙、共用絵の具、液体粘土
	いっばいつくったよ (立)	2	粘土の感触を体全体で感じながら、表したいことを見付けて表す。	イ粘土の感触を体全体で感じたことを基に、自分のイメージをもつ。	粘土、粘土板
	ひかる いろの なかまたち (立)	2 4	光を通す材料を袋の中に入れ、形や色の美しさを感じながらつくる。	ア材料を光に通す活動を通して、形や色などに気付く。	透明な袋、接着剤、色セロハン、セロハンテープ
	チョッキン かざり (工)【3(8)】	4	色紙を選び、折ったり切ったりしながら、形を見付けてつくる。	ア色紙を折ったり、切ったりする活動を通して、形や色などに気付く。	色紙、のり、はさみ、糸
	はこと はこを つなげたら (工)	6	紙箱の組み合わせた形から発想し、つなぎ方や飾りを工夫してつくる。	ア紙箱の組み合わせる活動を通して形や色などに気付く。	紙箱、接着剤、身近な材料
※(絵や立体26時間、工作27時間)	おさんぼ コロコロ (工)【3(7)】	4	転がる仕組みを生かして、考えたおもちゃをつくる。	イ仕組みの動きを基に、自分のイメージをもつ。	紙コップ、ペットボトル、めうち
	くしゃくしゃがみから (工)	2	紙を丸めたり、ねじったりした形から発想し、工夫してつくる。	イ紙を操作した形を基に、自分のイメージをもつ。	クレープ紙、のり
	このへや いいな(工) 【3(7)】	7	紙箱の中に自分の部屋を発想してつくり、持ち寄って楽しむ。	イ紙箱の形や色などを基に、自分のイメージをもつ。	紙箱、接着剤、はさみ、身近な材料
	◎1ねんかん ありがとう(絵・立・工) 【3(6)】	8	形や色を考えたり、材料を選んだりしながら、飾るものや贈るものをつくって楽しむ。	イ形や色などを考えて、材料を選ぶ活動を通して、自分のイメージをもつ。	身近な材料、接着剤
	でこぼこ いっばい	1	身の回りのものを紙にこすり出し、言葉に表すなどして互いの発見を伝え合う。	アこすり出す活動を通して、形や色などに気付く。	身の回りのもの、紙、色鉛筆、クレヨン、パス
鑑賞					

【第2学年】（総授業数 70時間）

内容	題材名	時間	学習活動	〔共通事項〕例	主な材料・用具
造形遊びをする活動（12時間）	◎ちきゅうからの おくりもの 【3(6)】	4	自然の材料の形や色の組合せを楽しむ。	イ自然の材料の形や色を基に自分のイメージをもつ。	自然の材料、ひも、粘着テープ、ホチキス
	◎いろコレクション 【3(6)】	2	色水のつくり方や並べ方を試したり見付けたりして楽しむ。	ア色水をつくる活動を通して、形や色などに気付く。	ペットボトル、透明容器、共用絵の具
	◎しんぶんしと なかよくなるう 【3(6)】	3	新聞紙から思い付いたことを基に、自分らしい発想をして表現を楽しむ。	イ新聞紙の形や色を基に、自分のイメージをもつ。	新聞紙、粘着テープ、ひも
	◎くるくる くねくね つながって 【3(6)】	3	紙を切ったり、はったり、丸めたりしてつなぐことを基に、自分らしい表現を楽しむ。	ア紙を操作する活動を通して、形や色などに気付く。	紙（切り落としなど）、はさみ、のり
絵や立体、工作に表す活動（57時間）	つづきえ ゴー（絵）	2	小さな画用紙のつなぎ方を考えながら、お話を想像して表す。	アお話を考える活動を通して、形や色などに気付く。	小さい画用紙、クレヨン、パス、カラーペン
	えのぐを たらして 楽しいことが（絵）	4	絵の具を画用紙に垂らしてできた模様から発想を広げて絵に表す。	イ絵の具を垂らしてできた模様の形や色を基に、自分のイメージをもつ。	画用紙、クレヨン、パス、カラーペン、共用絵の具
	わっ！ すごいなあ （絵）	4	体験を基に、驚きや感動を絵に表す。	イ感じたことを形や色などにして、自分のイメージをもつ。	画用紙、クレヨン、パス、カラーペン、共用絵の具
	ぼかして すてきなせかい（絵）	4	クレヨンやパスでかいた線をぼかして、絵に表す。	イぼかしたクレヨンやパスの形や色を基に、自分のイメージをもつ。	画用紙、クレヨン、パス
	キラキラ シャボンから・・・（絵）	4	泡からできた形や色から発想を広げて絵に表す。	イできた泡の形や色を基に、自分のイメージをもつ。	洗剤、ストロー、共用絵の具、画用紙、容器、カラーペン
	うつして ためして （絵）	4	型紙を使ったローラー遊びから思いを膨らませて、絵に表す。	アローラー遊びを通して、形や色などに気付く。	画用紙、ローラー、共用絵の具、練り板
	おしゃれな どうぶつ（立）	2	粘土を使い、好きな動物を想像して形にする楽しさを味わう。	ア粘土の感触を味わう活動を通して、形に気付く。	粘土、粘土板、粘土べら、ぞうきん
	ぎゅっとしたい（立）	2	もんだ紙を膨らませて、思い付いたものをつくる。	ア紙をもむことを通して、形や色に気付く。	クラフト紙、新聞紙、木工用接着剤
	くつつき マグネット（工）	4	マグネットでくつつくものを考えてつくる。	イ紙粘土の形や色を基に、自分のイメージをもつ。	紙粘土、磁石、共用絵の具、カラーペン
	紙けんだま 【3(7)】（工）	4	紙の形や色を考えて、けん玉をつくる。	イ紙の形や色を基に、自分のイメージをもつ。	画用紙、割り箸、糸、セロハンテープ
※（絵や立体29時間、工作28時間）	ブカブカ うかぶもの （工）	2 4	身近な材料を使い、水に浮かぶ仕組みを生かして遊ぶものをつくる。	イ水に浮かぶ材料の形や色、などを基に、自分のイメージをもつ。	ビニルテープ、釘、割り箸、化学接着剤、モール、空き容器
	カラフル カッチン （工）	3	身近な材料と木工用接着剤をまぜて、乾燥させ、飾るものをつくる。	ア木工用接着剤をまぜる活動を通して、形や色などに気付く。	身近な材料、はさみ、木工用接着剤
	わたしの おはなし ロボット（工）	4	身近な材料の特徴を生かし、組み合わせ思い付いたロボットをつくる。	ア身近な材料を組み合わせることを通して、形や色に気付く。	空き箱、容器、のり、身近な材料、はさみ、接着剤
	にんじゃロープで スイスイ（工）	2 4	糸を引くと動く仕組みから発想し、飾りを工夫して、おもちゃをつくる。	イ動く仕組みを基に、自分のイメージをもつ。	厚口画用紙、輪ゴム、ストロー、たこ糸
	カッターナイフで すてきなタワー（工） 【3(8)】	4	紙を切ったり、立てたりすることを基に、自分らしい発想をし、工夫してつくる。	ア紙を切ったり、立てたりすることを通して、形や色などに気付く。	カッターナイフ、カッターマット、接着剤、色画用紙
	◎モンスター・ ワールド（絵・立・工） 【3(6)】	6	今までの学習を生かし、自分が考えた表現方法で自分のモンスターを想像して表す。	イ材料の形や色などを基に自分のイメージをもつ。	身近な材料、紙粘土、色画用紙、接着剤、はさみ
	鑑賞	絵から うまれる ものがたり	1	絵を基に、自分で考えたお話を紹介し合い、お互いの思いを聞きながら鑑賞する。	ア自分や友人の作品を鑑賞することを通して、形や色などに気付く。



【第3学年】（総授業数 60時間）

内容	題材名	時間	学習活動	〔共通事項〕例	主な材料・用具
造形遊びをする活動 (10時間)	◎いつもの場所を 大変身!【3(6)】	4	場所の特徴から感じたことを大切にしながら、場所の様子を変化させて楽しむ。	イ場所の特徴(形や色)を基に、場所を変身させるためのイメージをもつ。	透明なプラスチック容器、ペットボトル、枝、葉
	◎どんどんのびのび ダンボール 【3(6)】	2 〜 4	いろいろな形や大きさの段ボール箱を重ねたり並べたりするなど、体全体で関わりながら材料に親しむ。	ア段ボールをつなげる活動から、形や色、組合せなどの感じが分かる。	段ボール箱、粘着テープ、段ボールカッター
	◎チョコキョキ つないで【3(6)】	2 〜 4	細長い紙をたくさんつくり、量や感触、空間の特徴などから思い付いた活動を楽しむ。	イ細長い紙の量や感触、空間の特徴などから、自分のイメージをもつ。	新聞紙、広告紙、包装紙、はさみ、セロハンテープ
絵や立体、 工作に表す活動 (48時間) ※(絵や立体 24時間、 工作 24時間)	絵の具ですてきな 色・形(絵)	2 〜 4	色づくりを楽しみながら、思いのままにかくことを通して自分の色や形を見付ける。	アかくことを通して、形や色、組合せ、色の明るさなどの感じが分かる。	画用紙(いろいろな大きさに切っておいたもの)、水彩絵の具
	とびらの 向こうは!?(絵)	4 〜 6	伝えたいことがよく分かるように、扉の向こうに広がる世界のかき方を工夫して表す。	イ扉の向こうの世界を想像しながら形や色を基に、自分のイメージをもつ。	画用紙、色画用紙、水彩絵の具、カラーペン、カッターナイフ
	これにも、 かけるよ(絵)	4	いろいろな材料の見た感じや触った感じから、思いを膨らませ絵に表す。	イいろいろな材料の形や色、感触を基に表したいもののイメージをもつ。	麻布、段ボール、緩衝材、水彩絵の具、クレヨン、カラーペン
	でこぼこ アニマルズ(絵)	6	厚紙や身近にある材料を使って動物等の版をつくったり、写したりすることから想像を広げ、色の効果を工夫して版に表す。	ア版をつくって写す活動を通して、版の形や色、色の明るさなどの感じが分かる。	版画インク、スポンジローラー、練り板、版画用紙、厚紙、身近な材料
	光をとおして(立) 【3(3)】	4	身の回りの透明な材料を集め、材料の組合せ方を考え、透明感や光を通す感じを生かしてつなぎ、立体に表す。	イ光を通す材料の形や色などの感じを基に、つくりたいもののイメージをもつ。	ライト、色セロハン、両面テープ、身近な材料、ペットボトルばさみ
	ねん土でタウン (立)	2	粘土を丸めたりのばしたりして、自分が住んでみたい街を想像して表す。	ア粘土の形を変える活動を通して、形や組合せなどの感じが分かる。	粘土、粘土板、切り糸、粘土べら、雑巾
	光の力で ファンタジー(工) 【3(3)】	4 〜 6	トレーシングペーパーや和紙を貼ってスクリーンをつくり、光の効果を考えながら色セロハンなどを貼る。	ア自分の感覚や活動を通し、形や色、組合せ、色の明るさなどの感じが分かる。	厚紙、色セロハン、片面段ボール、トレーシングペーパー、和紙
	カラフルねん土で マイショップ(工)	4	軽量紙粘土に絵の具を練り込みその色や質感を楽しみながら形や色の組合せを工夫して飾るものをつくる。	ア色のついた紙粘土を使った活動を通し形や色、色の明るさなどの感じが分かる。	軽量紙粘土、粘土板、竹ひご、ひも、モール、水彩絵の具
	ゴムゴム トコトコ(工) 【3(3)】	6	ゴムの力で動く仕組みをつくり、他の材料を組み合わせ、動くおもちゃをつくる。	イ材料の形や色などの感じを基に、自分のつくりたいもののイメージをもつ。	空き容器、輪ゴム、乾電池、たこ糸、カラービニルテープ
箱の中の物語(工)	4 〜 6	半分に切った箱の中に、紙粘土や身近な材料をもとに自分の想像した世界を楽しみながら表す。	ア箱の中に、自分だけの世界をつくる活動を通して、材料の形や色などの感じが分かる。	牛乳パック、紙粘土、色画用紙、カラーペン、カッターナイフ	
トントントントン くぎトントン(工) 【3(8)】	4	釘打ちを試しながら、釘の打ち方、釘の並べ方、木切れのつなぎ方を工夫して表す。	イ釘を打った感触やできた形をとらえ、つくりたいもののイメージをもつ。	木切れ、板材、枝、金づち、釘、糸、モール、輪ゴム	
鑑賞	◎カードでゲーム ~作品となかよし~	2	絵葉書や印刷物など作品図版による絵合わせや仲間集めなどのゲームで美術作品と親しむ。	ア身近な美術作品に親しみながら、形や色などの形、表現方法の違いが分かる。	カレンダーや写真、絵葉書やカード、美術館の図版

【第4学年】（総授業数 60時間）

解	題材名	時間	学習活動	〔共通事項〕例	主な材料・用具
造形遊びをする活動（10時間）	◎かげは友達 【3(6)】	2 〜 4	いろいろな材料を組み合わせてできる影の形や色の映り方を楽しむ。	イ光がつくりだす影の形や色などの感じを基に、自分なりのイメージをもつ。	光源、ロール紙や白布、ひも、ビニルテープ、デジタルカメラ
	◎囲んで囲んで すてきな場所に 【3(6)】	2 〜 4	仕切ることから生まれた空間と様々な材料との関わりから見慣れた場所に対する感じ方が変わることを楽しむ。	ア囲んだ場所の様子と材料を組み合わせてできたものの形や色の感じが分かる。	ポリエチレンシート、PPテープ、養生テープ、油性マーカー
	◎つないで つないで【3(6)】	4	新聞紙や棒状のものなどの材料をどんだんつないで、つなぎ方や組合せなどを工夫して、楽しむ。	イ長い材料の形や色などの感じを基に、自分なりのイメージをもつ。	新聞紙、割り箸、竹ひご、麻ひも、ひも、はさみ
絵や立体、工作に表す活動（48時間） ※（絵や立体24時間、工作24時間）	絵の具で遊んで いろいろ色紙（絵）	4	筆を使った技法以外の絵の具遊び（モダンテクニック）を通しての模様づくりや、できたものを組み合わせて楽しむ。	ア絵の具遊びを通して、形や色などの感じが分かる。	画用紙、色画用紙、ぼかし網、スポンジローラー、歯ブラシ
	こっこつほりほり 夢の世界（絵） 【3(8)】	6	彫る前に一度刷り、その後、刷った紙の形や色から想像を広げ、版木を彫り、2版を重ねて刷る。	イ彫る形や刷る色の組合せを基に、自分のイメージをもつ。	合板、版画用紙、版画インク、ローラー、練り板、ばれん、彫刻刀
	物語の1ページ （絵）	6	物語の好きな場面の様子を想像し、形や色の組合せを考えて絵に表す。	ア物語の好きな場面の様子を想像しながら、形や色、組合せの感じが分かる。	画用紙、色画用紙、水彩絵の具、クレヨン、パス、カラーペン
	森から生まれる すてきな世界（立） 【3(8)】	2 〜 4	木の材料の特徴を生かしながらかつくりたいもののイメージをもち、組み合わせ、立体に表す。	ア木の材料を組み合わせる活動を通して、形や色、組合せの感じが分かる。	木・枝・板材・木の実、身近な材料、のこぎり、釘、金づち、接着剤
	ドロドロかっちゃん （立）	4 〜 6	布やいろいろな材料を組み合わせた形を液体粘土で固め、色を塗ったり、様々な材料を組み合わせた形を、立体に表す。	イ布や材料が、液体粘土で固まってできる形を基に、自分のイメージをもつ。	布、身近な材料、液体粘土、段ボールカッター、接着剤、水彩絵の具
	バタバタバック （工）	4 〜 6	輪切りにした牛乳パックを材料に、簡単な仕組みを使った動くおもちゃをつくる。	ア自分の感覚や活動を通して、形や色、動きの組合せなどの感じが分かる。	牛乳パック、割り箸、色画用紙、クリップ、モール、カッターナイフ
	ハッピーカード （工）	4	飛び出すものの形を考え、使う仕組みを選び、色画用紙などでカードをつくる。	ア飛び出すカードづくりを通して、形や色などの感じが分かる。	画用紙、色画用紙、折り紙、カッターナイフ、水彩絵の具、カラーペン
	箱をつなげて マイボックス（工）	4 〜 6	造形紙などの材料を使って、箱状のものをづくり、組み合わせて、生活に役立つ小物入れをつくる。	イ製作した箱の形や色などを基に、自分でつくりたいもののイメージをもつ。	厚口造形紙、接着剤、カッターナイフ、クリップ、身近な材料、水彩絵の具
	ギコギコ アーティスト（工） 【3(8)】	6	木でできた身近なものを思い浮かべ、板や木切れなどを切った形を基に、生活に使えるものをつくる。	ア木片を組み合わせる活動を通して、形や色、組合せの感じが分かる。	角材、板材、のこぎり、金づち、釘、紙やすり、接着剤
	らんらんランプ （工）	4	色セロハンなどの光を透す材料で、自分の気に入った模様をペットボトルなどの透明容器に施し、中から発した光に色をつけて楽しむ。	イ光を透す形や色などを基に、自分なりのイメージをもつ。	油性マーカー、色セロハン、アルミホイル、LEDライト
鑑賞	◎探検！発見！ かくれた形！ 【3(8)】	2	校内や身の回りで、顔や生き物に見える場所やものを探し出し、デジタルカメラで撮って、発表し合う。	イいろいろな見方を紹介し合う中で、形や色を基に自分のイメージをもつ。	デジタルカメラ、プロジェクター

【第5学年】（総授業数 50時間）

内容	題材名	時間	学習活動	〔共通事項〕例	主な材料・用具
造形遊びをする活動 (6時間)	◎風を感じてとらえて 【3(6)】	2	目に見えない風を身近な材料を使ってつかまえ、その動きや形が変化する美しさをとらえ、見せ方を工夫する。	イ風によって動くものの形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	布、リボン、紙テープ、PPテープ、棒
	◎こんなところに！？【3(6)】	2	身近な場所の特徴を生かして、材料の組み合わせ方や使い方を工夫して楽しい空間に変身させる。	ア場所の特徴を生かした空間と材料とを組み合わせる活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。	紙類、カラーペン、水彩絵の具、身近な材料、デジタルカメラ
	◎自然のキャンパス 【3(6)】	2	季節を感じる材料や場所を基に、自然の材料に身近な材料を加えて、活動を楽しむ。	イ季節を感じる材料や場所などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	葉と枝、木の実、段ボール、ひも
絵や立体、工作に表す活動 40時間 ※(絵や立体20時間、工作20時間)	春のきもちを (絵)	4 ～ 6	春の息吹にふれ、風や匂いなどから感じたことを形と色などで表す。	イ春の風景の色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	画用紙、水彩絵の具、カラーペン、クレヨン
	心に浮かぶカラーワールド (絵)	4	写真や本から想像して、心に浮かんだまだ見ぬ世界の形や色で自分の思いに合った表し方を工夫して表す。	イ写真や本から心に浮かんだ形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	画用紙、水彩絵の具、紙粘土、段ボール、ひも、砂
	色を重ねて心を重ねて (絵) 【3(1)】	4 ～ 6	心に感じたことをもとに、想像を広げ、線や形、色の重なりを生かして版に表す。	ア自分の感覚や活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。	スチレンボード、版画インク、ローラー、インク練り板、カッターナイフ、身近な材料
	のばして切ってくっつけて (立)	2	板状にした粘土を切り取ったり、切り起こしたりしたものを組み合わせて、立体に表す。	ア粘土を切ったり切り起こしたりする活動を通して、形などの造形的な特徴を理解する。	土粘土、切糸、粘土べら、たたら板、のし棒
	くねくね ぐるぐる 生まれたものは (立) 【3(8)】	4	アルミ線、間伐材、紙テープなどの線材を曲げたり巻いたりした形から思い付いたことを工夫して表す。	イ線を組み合わせた形などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	アルミ線、針金、モール、ペンチ、ラジオペンチ、間伐材等
	糸のこ de Go Go (工) 【3(8)】	6 ～ 8	電動糸のこぎりを使って、板を曲線に切って、生まれた形から発想し、その板を組み合わせて新しい形に表す。	ア切った板の形や色の組合せを試す活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。	合板、電動糸のこぎり、水彩絵の具、(接着剤)
	ビー玉 コロコロ大冒険 (工)	6	材料や仕組みを工夫して、ビー玉が楽しく転がるおもちゃをコースやしかけを考えたり、形や色を工夫したりしてつくる。	ア遊ぶものをつくる活動を通して、形や色、動きなどの造形的な特徴を理解する。	段ボール、板材、色画用紙、紙バンド、接着剤、はさみ
ダンダンだんボール (工)	6 ～ 8	段ボールの材料としての可能性を試して活動する。切る・折る・剥がす・水につけて加工する活動から発想して表す。	ア材料との関わりを通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。	段ボール、段ボールカッター、カッターナイフ、接着剤、(ポスターカラー)	
鑑賞 (4時間)	◎カードでトーク	2	アートカードやポストカードを使って、感じたことを伝え合う。	アカードの作品を見比べる活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。	アートカード、ポストカード
	◎どこに かくれているのかな	2	植物や生き物の「擬態」について知り、身近な場所やそのものの特徴を生かしてかき表したり、自他の作品を鑑賞し発想のよさを伝え合ったりする。	イ身近な場所の中にある形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	画用紙、水彩絵の具

【第6学年】（総授業数 50時間）

内容	題材名	時間	学習活動	〔共通事項〕例	主な材料・用具
造形遊び (6時間)	◎光とかげのハーモニー 【3(6)】	2	電球や LED ライト、光源を使って、光を通すものを組み合わせて、光や影を工夫して映し出して楽しむ。	イ光と影の形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	光源、プロジェクター、LED 懐中電灯、光を通す材料
	◎ひらいてならべてつるして 【3(6)(8)】	2	開いた傘を使って、校舎の内外の広い空間に働きかけて場所の変化を楽しんだり、自分たちの思いを表したりする。	ア傘を開いた時の形や色から発想する活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。	不用の傘、針金、ペンチ、ビニルテープ、PP テープ、デジタルカメラ
	◎一瞬の水をとらえて 【3(6)】	2	水が流れたり飛び散ったりする様子を捉えたあと、水に触れたり動かしたりしながら表したい水の姿をつくる。	イ素材や場所などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	色セロハン、バケツ、ひしゃく、じょうろ、デジタルカメラ
絵や立体、工作に表す活動 (40時間) ※(絵や立体20時間、工作20時間)	心に咲いた花(絵)	4 5 6	見たり想像したりした花から発想を広げて、感じたままに楽しみながら自分の好きな形や色で表す。	イ花の形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	画用紙、水彩絵の具、クレヨン、カラーペン
	墨と筆から(絵)	4	墨や用具の特徴を生かして自分の表したいことを見付け、いろいろ試しながら自分の思いに合う表し方を工夫して表す。	イ墨と筆から生まれる形や線、色の濃淡などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	和紙、刷毛、小皿、墨汁、筆、スポイト、文鎮、筆洗
	版で表す心の模様(絵)	4	スチレンボードの特徴とこれまでの経験を生かして、型押しやボードの分解・再構成をしながら版で表す。	イ版で表現できる形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	スチレンボード、版画用和紙、水性版画インク、身近な材料
	水の流れを(立)	2	ガラスが溶けて流れたり溜まったりする様子をイメージしながら、どのような流れにするのか、どんな形にするのか、想像しながら粘土で表す。	ア水の流れや溜まる様子をイメージする活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。	焼成用粘土、ガラス片、かきべら、切り糸、のし棒、竹ぐし、
	白い世界を(立)	4 5 6	身近な材料と液体粘土を使い、思いのままに形ができる美しさを味わいながら、自分の想像する白の世界を広げて表す。	ア身近な材料と液体粘土で立体に表す活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。	布、空き缶、液体粘土、紙類、針金、角材、板、釘、金づち
	動いてはじまるストーリー(工)	6	かんたんな仕組みや動き方を試しながら、動くとおもちゃを形や色、バランスを考えながら工夫してつくる。	ア簡単な仕組みと動き方を試す活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。	紙箱、包装紙、針金、ペンチ、竹ぐし、ストロー
	自分の力で～板から生活に役立つもの～(工)【3(8)】	6 7 8	一枚の板から、用途や仕組みを考えて、つくりたい思いを膨らませながら生活に役立つものをつくる。	ア板を切ったり組み合わせたりしてできる姿をイメージする活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。	板、電動糸のこぎり、釘、金づち、紙やすり、水彩絵の具
	夢をかなえて(工)	6 7 8	やってみたいこと、仕事などを行っている時の様子を想像し、思いを広げて自分の将来の姿がよりよく伝わるように工夫しながらつくる。	ア将来の自分をイメージする活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。	紙箱、紙粘土、板材、木片、白ボール紙、アルミ線、金づち、水彩絵の具
鑑賞 (4時間)	◎この絵 どう見る？ 【3(4)】	2	絵画作品をよく見て絵の中から見付けたことや感じたこと、想像したことなどを友達と話し合うことで、自分や友達の見方や考え方、発想の面白さに気付く。	ア自他の感じ方を伝え合う活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。	関係する資料
	◎和の心 日本の美	2	私たちの暮らしを楽しく豊かにしている「和の形」にふれ、よさや美しさを感じ取る。	イ日本の美術のよさや美しさなどの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	ワークシート、実物投影機、家庭で見付けた和を感じる物

3 題材及び1単位時間の指導計画作成の留意事項

〔題材の指導計画作成の留意事項〕	〔1単位時間の指導計画作成の留意事項〕
<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画を基に、児童の実態を踏まえ、題材の造形的なよさや美しさ、特性をつかみ、指導の内容や評価の観点を整理し焦点化する。</li> <li>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「造形的な見方・考え方」を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を計画する。</li> <li>育成を目指す資質・能力を明確にし、「つくり、つくりかえ、つくる」という学習過程を設定する。</li> <li>〔共通事項〕を視点に言語活動を効果的に位置付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が教える場面と児童に考えさせる場面を明確にして計画する。</li> <li>本時の目標の実現に向け、提案（導入）、指導（活動中）、まとめ（終末）を工夫する</li> <li>対話によって児童の考えなどを広げたり深めたりする。</li> <li>互いの活動や作品を見合いながら考えたことを伝え合ったり、感じたことや思ったことを話したりするなどの言語活動を充実させる。</li> <li>学習の振り返りを行い自身の学びや変容を自覚できるようにする。</li> <li>自分の成長やよさ、可能性などに気付き、次の学習につなげるようにする。</li> </ul>